

協力し合って

お願い

この冊子は、主として小学校高学年(5, 6年生)を対象として平成16年1月に作成しました。

男女共同参画の推進の必要性を十分認識され、この冊子を用いて、子どもたちとともに、男女共同参画社会とはどんな社会なのか、どうしたら男性も女性も誰もがいきいき暮らせるのかなどについて考える時間にしていただきたいと思います。

本時の活動を提示しますが、これはあくまでも展開例ですので、先生方で研究の上、授業等を組み立てたり、補助プリント等を作成してみてください。

また、授業等でこの冊子をお使いいただき、気づかれたことや御感想をお寄せいただければ幸いです。

1 活用に当たって

○テーマ

協力して生活しよう

○解説

- 指導にあたっては、ワークシートを活用して子どもたちが日常の生活の中で数多く体験していることをあげ、家庭の中で性別役割分担があることや資料を通じて女性の方に家事が集中しやすい現状に気づかせたい。

そして、自分が現在している家庭の仕事について確かめ、もっとできることはないか考えさせることによって自分も家族の一員として協力していこうとする意欲を高めていきたい。

- ここでは、家族一人一人が協力してそれらの仕事を分担することの大切さについて考えさせることを重視するが、家族形態の多様化や児童一人一人の家庭環境等に十分に配慮し、進めていく。

2 活用例

○活用上の位置付け

小学校家庭科「家庭生活と家族」、総合的な学習の時間、学級活動

(1) 題材名

協力し合って

(2) ねらい

- 「男だから」「女だから」という固定的な性別役割分担に気づき、性別にとらわれない意識をもてるようにしたい。
- 家族の家事分担について調べ、女性(母親)の負担の多さに気づき、自分も家族の一員としての役割を果たそうと考えることができるようにしたい。

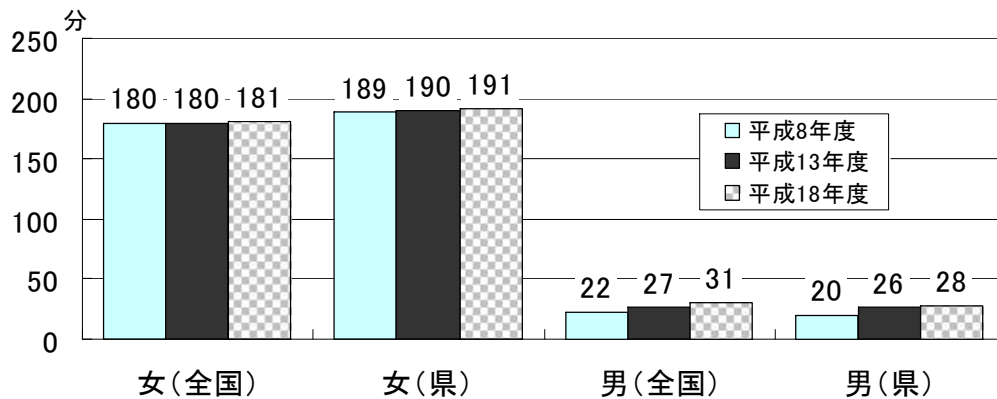
(3) 展開例

学 習 活 動	教師の指導・支援のポイント
<p>1 ワークシートをコピーし使用する(P9)</p> <p>「あなたの家では、だれがどんな仕事をしていますか」</p>	<p>○家庭での仕事の多くを女性が担っている場合が多いことに気づかせ、家庭での会話や様子を思い起こしながら、家事を担っている人の気持ちを考えさせたい。(子どもにより家庭の状況が異なる)</p>
<p>2 どんなことを感じましたか みんなで話し合ってみましょう</p> <p>「みんなの家では、どのように家事を分担をしていますか。」</p> <p>「女性が家事をたくさん分担しているのはなぜでしょうか」</p> <p>「なぜ家族の協力が必要なのでしょうか」</p> <p>「わたしたちにできることを考えてみましょう」</p> <p>「あなたができそうな家の仕事は何ですか」</p>	<p>P10の棒グラフ及び円グラフを参考にそれぞれの家庭における仕事分担について話し合う。</p> <p>○家事、育児、介護などの家庭責任を性別にかかわらず家族が担っていくことが大切であり、小さなことも含めてそれぞれの家庭に応じた家事の分担に改めていくことが大切であると気づかせたい。</p> <p>P11のグラフを参考に</p> <p>○自分の身のまわりのことで、家族まかせにしていることはないか、何ができるかを考えさせ、生活面での自立を目指したい。</p>
<p>3 本時のまとめをする</p>	<p>○自分のできそうな仕事があることや家族の一員として取組むことの大切さに気づかせたい。</p>

協力し合って

1 家事関連時間の推移

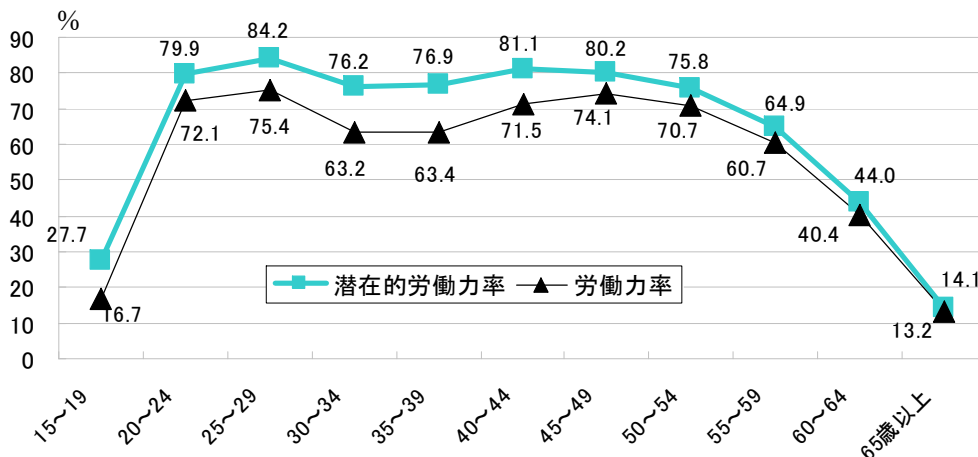
子育てや介護、掃除などの家事関連時間を男女別にみると、男性の28分に対し、女性は191分(平成18年静岡県)と、大きな差がある。男性の家事時間は、平成8年と比較すれば8分延びたが、男女間格差は未だ大きい。家庭の中で家事はほとんど女性が担っている状況がうかがえる。



資料:社会生活基本調査(H8, H13, H18)

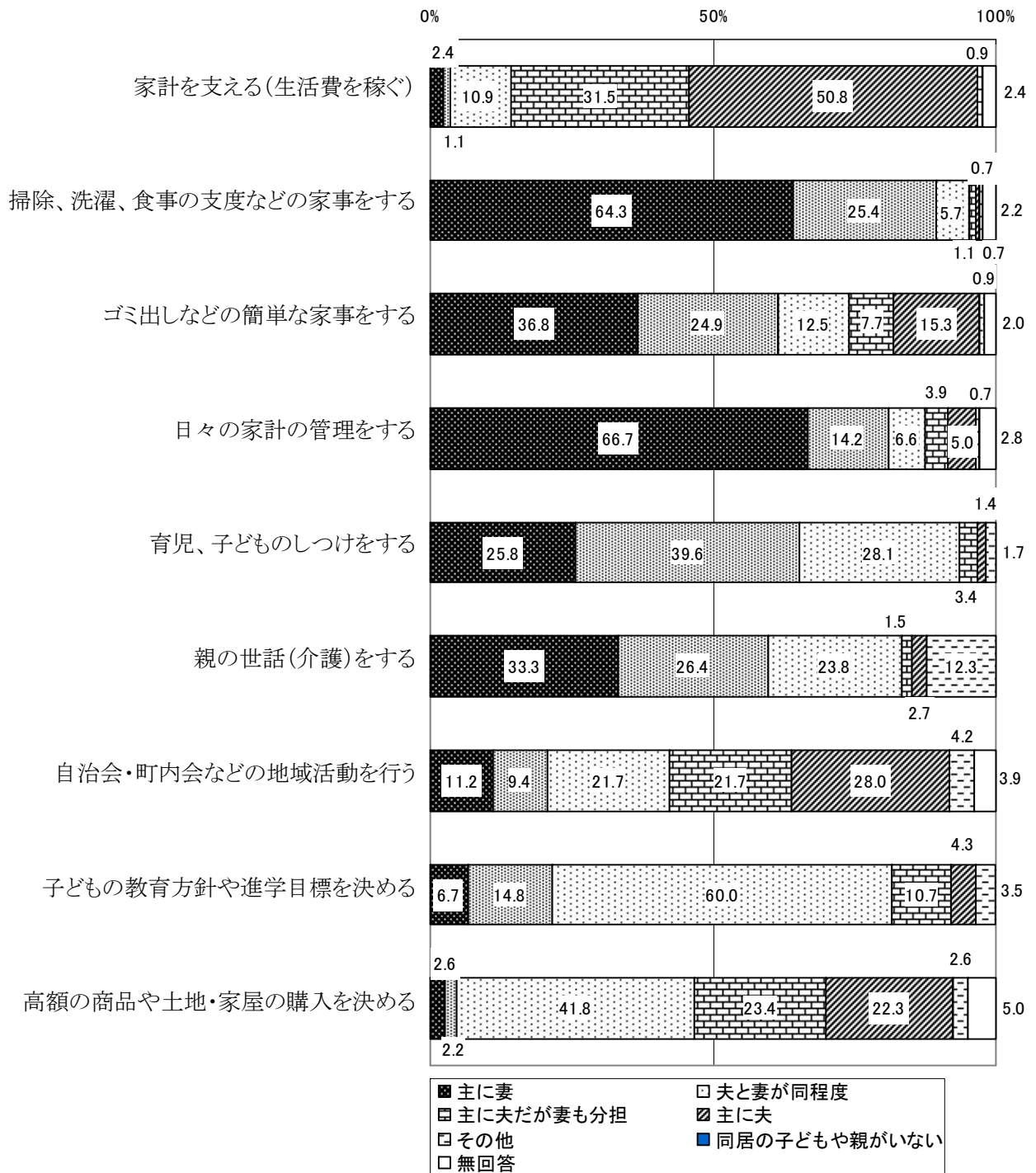
2 女性の働力率

労働力人口に就職希望者を加えた「潜在的労働力率」をみると、労働力率の最も低い30~34歳でも76.2%となり、働きたい気持ちがありながら、実際には働けないでいる女性が多いことがわかる。



資料:労働力調査(H18)

3 家庭での役割分担



資料: 静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(H18)

4 「お手伝いをするとしたらどの仕事か」

区 分		調 査 数 (%)	お手伝いをするとしたらどの仕事か										
			食 事 の た め の 買 い 物	食 事 の し た く	食 事 の あ と か た づ け	洗 た く 物 を ほ す こ と	洗 た く 物 を た た む こ と	ア イ ロ ン が け	部 屋 の そ う じ	ふ ろ の そ う じ	ト イ レ の そ う じ	ゴ ミ 出 し	無 回 答
小中高 全 体	全体	8,688	1,851	2,833	3,180	816	2,279	590	3,257	3,614	270	2,683	250
		100.0	21.3	32.6	36.6	9.4	26.2	6.8	37.5	41.6	3.1	30.9	2.9
	女子	4,189	946	1,660	1,711	534	1,443	453	1,489	1,525	108	843	88
		100.0	22.6	39.6	40.8	12.7	34.4	10.8	35.5	36.4	2.6	20.1	2.1
	男子	4,462	896	1,163	1,461	281	828	135	1,758	2,075	158	1,825	159
		100.0	20.1	26.1	32.7	6.3	18.6	3.0	39.4	46.5	3.5	40.9	3.6
小5	全体	4,112	998	1,367	1,457	323	1,056	328	1,262	1,784	156	1,524	86
		100.0	24.3	33.2	35.4	7.9	25.7	8.0	30.7	43.4	3.8	37.1	2.1
	女子	1,973	520	787	779	198	648	239	609	758	64	522	34
		100.0	26.4	39.9	39.5	10.0	32.8	12.1	30.9	38.4	3.2	26.5	1.7
	男子	2,121	472	576	676	125	405	88	649	1,019	90	995	50
		100.0	22.3	27.2	31.9	5.9	19.1	4.1	30.6	48.0	4.2	46.9	2.4
中2	全体	3,944	761	1,259	1,478	412	1,035	226	1,703	1,606	101	1,054	135
		100.0	19.3	31.9	37.5	10.4	26.2	5.7	43.2	40.7	2.6	26.7	3.4
	女子	1,848	367	732	773	271	647	182	738	639	37	289	45
		100.0	19.9	39.6	41.8	14.7	35.0	9.8	39.9	34.6	2.0	15.6	2.4
	男子	2,079	391	522	700	140	383	43	960	960	62	757	89
		100.0	18.8	25.1	33.7	6.7	18.4	2.1	46.2	46.2	3.0	36.4	4.3
高2	全体	632	92	207	245	81	188	36	292	224	13	105	29
		100.0	14.6	32.8	38.8	12.8	29.7	5.7	46.2	35.4	2.1	16.6	4.6
	女子	368	59	141	159	65	148	32	142	128	7	32	9
		100.0	16.0	38.3	43.2	17.7	40.2	8.7	38.6	34.8	1.9	8.7	2.4
	男子	262	33	65	85	16	40	4	149	96	6	73	20
		100.0	12.6	24.8	32.4	6.1	15.3	1.5	56.9	36.6	2.3	27.9	7.6

資料:旧静岡市立小・中・高の児童生徒の意識調査(H15)